

千葉中央



今も精力的に創作を続ける松本節太郎さん

同ギャラリーの鈴木昇社長(左)が中心となり、

一九〇三年に東京・下谷の染物屋の四男として生まれた松本さんは、戦災で柏に疎開後、裏山の粘土を使って手ひねりで人形作りを始めた。上野や浅草などで売り歩き、下総玩具として次第に全国に根強いファンを持つまでになっている。

テーマは西遊記や七福神などさまざまで、かわいらしさの一つ一つ表情の違う個性が特徴。竹ぐしに刺したものをわら束に刺し、柱や壁につり下げ「下総首人形」が代表作品だが、後継者難で一代限りになりそうな状況だ。

下総玩具

100歳、創作意欲衰えず

柏 創始者・松本さんの記念展

これまで松本さんが世間に出ることを嫌ったこともあり、作品が紹介される機会は多くなかった。鈴木社長は百歳を迎えて以前とは逆に、元気に活動していることをアピールするのも面白いということで実現した。資

十五年前に創設した民間文化賞「ヌーベル文化賞」の第一回を松本さんが受賞。これをきっかけに交流を始めた鈴木社長らが作品をより広く知ってもらおうと、個展の開催を計画した。同ギャラリー二階に同時オープンした常設資料室の開設記念でもあるが、資料室には、和室の壁や棚いっぱい約五百点が展示されている。

料室はそんな遊び心の集大成。無心で楽しんでもらいたいと話している。会期中に松本さんが会場を訪れる予定もある。

個展、資料室とも入場無料。午前10時～午後7時、水曜定休。問い合わせは同ギャラリー☎電04(7146)6800

〓。(山田 和宏)

素朴な郷土玩具「下総玩具」の創始者・松本節太郎さん―柏市根戸一の満百歳を記念した「100歳の個展」が、同市旭町四の「ギャラリーヌーベル本店」で開かれている。今も創作を続ける松本さんの作品約三百点を展示即売しており、県内外からの愛好家らでにぎわっている。二十三日まで。



素朴な味わいの作品が並ぶ資料室―柏市で